

作者^{しや}について



あまん きみこ（一九三一—）

あまんきみこさんは、満州^{まんしゅう}（今の中国^{ちゅうごく}東北部^{とうほくぶ}）生まれの児童文学^{じどう}の作家です。自分の子どもに聞かせるためにお話を作りはじめました。

ふしぎなできごとがおこる物語^{ものがたり}をたくさん書いています。また、自身のせんそうの体験^{けんけん}をふまえて、せんそうを題材^{だいざい}にした物語も書いています。

他の作品^{ほかのひん}



他の作品には、『雲のピアノ』（いせひでこ／絵、講談社^{こうだん}）、『車のいろは空のいろ』シリーズ（北田^{きただ}卓史^{たくし}／絵、ポプラ社）、『お母さんの目』（くろいけん／絵、あかね書房^{あかね}）、『ちいちゃんのかげおくり』（上野^{うえの}紀子^{のりこ}／絵、あかね書房）などがあります。

画家について



いわさき ちひろ (一九一八—一九七四)

いわさきちひろさんは、福井県生まれの画家、絵本作家です。

絵の具の^ぐにじみを生かす方法^{ほう}で、やわらかく、どくとくの色合いの絵をかいています。しょうがい、子どもを題材^{だいざい}にした絵をかきつづけました。

他の作品^{ほか ひん}



他の作品には、『ことりのくるひ』(至光社^{しこう})、『ひさの星』(斎藤^{さいとう} 隆介^{りゅうすけ}／作、岩崎書店^{いわさき}) などがあります。また、いわさきさんは、アンデルセンがすきで、『おやゆびひめ』(立原^{たちばな} えりか／文、講談社^{こうだん}) などアンデルセンの絵本もたくさんかいています。

